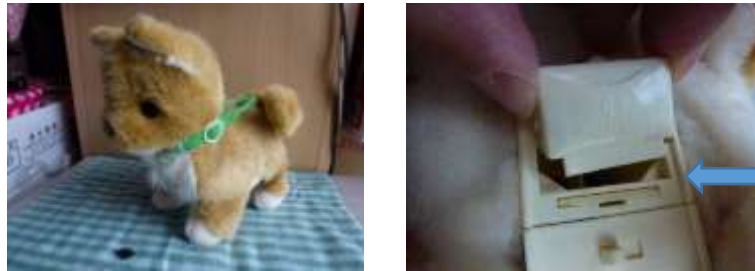


ぬいぐるみ子犬の修理報告

平成28年12月25日

Dr 楠瀬 雄章

1 症状(電池ボックスカバーの破断)



- 2 修理(カバー以外に異常なく(歩き鳴く)、電池ボックスは取出さず修理することに)
- 蝶番によるカバーの取付けはDr室井さんのアドバイスを頂く
 - 蝶(丁)番のサイズ長さ17.6mm、開き巾12.5mm、厚さ0.2mm
 - 両面テープで仮止め、開閉具合とスイッチが入り子犬が動く事を確認し、接着(写真① 写真②)(セメダインスーパーXG使用)したが電池を入れてカバーをすると、カバーを押し上げる力(電池を固定するバネ)が強く、蝶番が浮き上がり、補強(針金(写真⑤)と手帳のカバーの裁断片(接着具合試験(写真③)を接着(写真⑥))する



写真①



写真②



写真③



写真⑤



写真⑥



修理完了・見栄え△

3 修理完了

接着24時間後に電池を入れ、そのまま12時間放置、蝶番の浮き上りなくスイッチを入れ歩きと鳴きを確認して修理完了する。

(修復度 ◎)